令和4年度

名寄市立名寄中学校 グランドデザイン



校訓 誇りと責任

実践されたら

学校教育目標

- 教育関係法規等
- 学習指導要領
- 上川管内教育推進の重点
- 名寄市学校教育推進計画
- 思いやりをもち、互いを認め合う生徒 自ら課題をもち、真理を追究する生徒 自ら磨き、たくましく生きる生徒
- 前年度の学校関係者 評価の結果
- 地域・保護者・生徒の 思い

実現できたら

学校力向上に関する 総合実践事業

- 中核校
 - •名寄中学校
- 地域指定校
- 南小 -西小
- •智小 •智中

めざす子どもの姿(15歳の姿)

- 夢や大きな志を抱き. 学習に励む生徒 <
- 自ら行動し,互いに認め合い,協力し合う生徒 <
- ■「責任」ある行動ができ、地域社会の一員としての「誇り」をもつ生徒

名寄南小•名寄中 学校運営協議会で共有

第3次 教育改善PJ委員会

人材育成と学習指導に関する 諸課題への対応

- ~ 市教研・各種委員会との連携を通して ~
- 教育経営の充実G
 - ・学校における働き方改革・ 部活動改革の推進
- 教育研究の充実G
 - ・次代を担う人材の育成
- 教育指導の充実G
 - 教育の質の向上を図る ICTの効果的な活用

中期目標 名中への道標

4K運動

- めりはりのある生活で豊かな心を育てる
- ↓ よくをもって学習に取り組み学力を向上させる
- | いきとのつながりを大切にし.郷土を愛する心を育てる
- ゆ めや「志」をもち何事にも挑戦する態度を育てる。
- |るおいのある教育環境を整え,健やかな体を育てる

H2~H4 校内研修 研究主題

互いに認め合い, 学び合う生徒の育成

- ~ 道徳科において、考え、
- 議論したくなる授業の工夫 ~
- ■全体研修 ■学年メンター 研修 ■生徒の実態把握のア ンケート ■基礎基本の定着 を目指した実践の継続 ■授 業交流 ■ミニ研修

(1) 主体的・対話的で 学力を育む学習指導

望ましい学習習慣や学 び方を身に付けさせ、 家庭との連携による家 庭学習習慣の徹底

(2) 豊かな心を育む道

年度の重点教育目標

生徒が成長を実感でき、信頼される学校

- 徳 互いに認め合い、学び合い、よりよい人間関係を構築する生徒の育成 … 共助
- 日常の活動を通して、自らの健康・体力向上に励む生徒の育成 … 躍動 体

深い学びによる確かな

心に響く「特別の教科 道徳」の実践と,道徳 的価値の自覚を深める 指導の充実

徳教育

(3) 地域の特色や今日 的課題を踏まえた総合 的な学習の時間

生徒が主体的に探究し ながら学び方やものの 考え方を身に付けさせ る学習活動の推進

(4) 個と集団のよさを 実感する特別活動

・感動と成就感を味わ い、個と集団が共に高 め合うことのできる学 校行事の推進

(5) 自己をよりよく導 く生徒指導

・共感的な生徒理解を深 め、人間的なふれあい の中で自己指導能力を 育成

基礎・基本を身に付け、主体的に学習に取り組む生徒の育成 … 深慮

F度の里点教育日標		知	偲	1本
(ア 1	?) 知識及び技 能の習得	・基礎的・基本的な 知識及び技能を確 実に身につけてい	・礼儀の意義を理解 し、時と場に応じた 適切な言動をしてい	・運動の意義を理解 し、基本的な技能を 身に付けている。

成 で目指す資質・

能力

(イ) 思考力・判 断力・表現力等 の育成

- ・課題を見付け、見通 しをもったり振り
- を追究している。
- り、表現したりして いる。

・主体的に課題を解決

しようとしている。

互いのよさを生かし

いる。

て協働しようとして

- 返ったりして、課題 課題を解決するため に、思考・判断した

る。

- 自分の考えや意見を 相手に伝えている。 ・ いろいろなものの見
- 方や考え方があるこ とを理解している。

思いやりの心を

としている。

ている。

互いに励まし合

もって人と関わろう

ついて自分の課題を 見付け、解決に向け て工夫して取り組 み、それらを他者に 伝えている。

健康について、個人

生活を中心として理

解し、基本的な技能

を身に付けている。

・運動や健康・安全に

- ・粘り強く、何事も最 後まであきらめずに 行動しようとしてい
- い、高め合おうとし ・運動に親しみ、健康 の保持増進、体力の 向上に取り組もうと している。

(11) 自主性や主体性を

育む部活動

活動の意義やねらいを 踏まえ、「名寄中学校 部活動に係る方針」に 則した活動内容の推進

(10) 生命を尊び, 自ら 心身を鍛える健康教育

・全教育活動を通じた健 康で安全な生活を送る ための実践力の育成

(9) 情報活用能力を育 む情報教育

- ・技術・家庭科を中心と した各教科の授業での 情報活用能力の向上
- (8) 外国語によるコ ミュニケーション能力 を育む, 国際理解教育 ・コミュニケーションを
- 図ることへの興味・関 心を高める指導方法の 工夫

(7) よりよい生き方を 目指すキャリア教育

3年間を見通した主体 的な進路選択への指導 と援助の充実

(6) 一人一人のニーズに

(ウ) 学びに向か

の涵養

うカ、人間性等

応じた特別支援教育

特別な支援を必要とする 生徒の実態把握と全校的 な支援体制の強化